

## 山下居留地遺跡保存活用のこれまでの経緯の概略

### これまでの経緯の概略

07年11月24日(見学会)

上記遺跡の公開見学会が開かれ、500名以上の市県民が見学参加。

当遺跡は県の方針として、画期的な考古学的発掘調査をしながらも、記録保存のみとし、遺構、遺跡全ての撤去処分を予定。

07年12月4日付(学識経験者が要望書提出)

近代建築専門の学識経験者(関東学院大学水沼淑子先生、横浜国大吉田鋼市先生、神奈川大学西和夫先生)連名による山下居留地遺跡の価値を残す要望書を関係箇所へ提出。

07年12月12日(学識経験者が要望書提出)

慶応技術大学 SFC 研究所 岡本孝之先生県知事へ保存要望書提出。

07年12月12日(記者会見開催)

県庁記者クラブにて、当会メンバーが記者会見を開き、遺跡保存について説明。

07年12月14日(会の設立、緊急集会の開催)

波止場会館にて市民による「山下居留地遺跡の価値を考える会」を急遽立ち上げ、よこはま洋館付き住宅を考える会事務局内に暫定事務局を設置。

07年12月19日(会が要望書を提出)

当会より、関係各所(8カ所)へ遺跡の保存要望書を提出。(保存要望書参照)

07年12月24日(会が遺跡活用案を提案)

当会より、当会作成の隣接地へまたがる公開通路内の遺跡保存プロムナード案を提案。(「(仮称)山下居留地遺跡プロムナード整備事業の提案」参照)

当提案は計画建物等を変更無く、遺跡を保存、公開可能な方策として、各方面より支持される。

07年12月26日(会が知事と会談)

当会メンバーが松沢知事と面会、遺跡保存プロムナード案、遺跡保存活用を直接説明、要望。

07年12月28日(会が県と会談)

当会メンバーが県(県民部、教育委員会)及びUR担当者と意見交換を行い、強く保存活用を要望。その結果、県は前向きに検討すると確約。

08年1月11日(会が県へ報告を求める文書を提出)

当会より、県に対し遺跡保存活用検討進捗状況の報告を求める。

これについて1月30日方策検討中との電話回答。

08年2月4日(会が県へ報告を求める文書を提出)

当会より、県に対し遺跡保存活用検討進捗状況の報告を求める。

これについて2月8日付で方策検討中との文書回答。

08年2月20日(工事施工者が誤って遺跡を掘削する事故が発生)

現場山留め準備工事において、未調査部分の遺跡確認をせぬまま工事敷地いっぱいの掘削状況を視認。

(2.23朝日新聞掲載)

直ちに当会から現地確認立会いと、経緯説明、保存活用検討案の早期提示、近代建築史等専門家や市民参加や公開を求める要望書を提出。

08年2月26日(事故に関する現場確認と県との会談)

当会メンバーによる現場確認立会い実施と、事業者UR及び県担当者(県民部、教育委員会)から経緯説明を受ける意見交換会を開催。

掘削はURの施工者への指示ミスと判明。巾約1m範囲の遺跡が未調査で消滅した。遺跡保存活用の方策は現在UR内にて新県民ホール設計者と具体的に検討案を策定中と報告を受けたが、近代建築史等の学識経験者を入れた公開委員会設置を強く要望。

08年3月26日(横浜商工会議所が要望書提出)

横浜商工会議所会頭名にて、関係各所へ遺跡保存活用要望書提出

08年3月31日(県が活用方策検討案を会見にて発表)

県、新県民ホール設計者、会のメンバーが新庁舎5階会議室にて遺跡の活用方策に関して意見交換を行った。県は活用方策検討案3案(遺跡の保存・復元地盤面及び規模の違いによるバリエーション)を提示した。同時に保管遺物写真を公表した。

同席上に於いて会が「(仮称)山下居留地遺跡プロムナードプロジェクト」案の説明を行った。(「(仮称)山下居留地遺跡プロムナードプロジェクト」参照)

双方の提案について、近代産業遺構の保存問題に詳しく、当該再開発事業のコーディネーターでもある芝浦工業大学教授の中野恒明氏を交え、会と県及び事業者の間で非常に前向きな建設的同意が得られた。今後は、プロムナード部分に留まらず敷地全体での居留地遺跡の保存活用に取り組む方向性を共有できた。また、県は保存活用の方策検討に際して、近代建築や保存修復の専門家及び市民を交えた検討会議を設置する主旨の会の要望に対して前向きな検討を約束した。

(山下居留地遺跡の活用方策に関する意見交換会議事録参照)

#### 山下居留地遺跡の価値を考える会活動賛同団体

以下の諸団体から正式に当会活動賛同団体として、承認を頂いています。(順不同)

- ・ 日本建築学会神奈川支所
- ・ 日本建築家協会神奈川地域会
- ・ 神奈川県建築士会
- ・ 横浜市設計共同組合
- ・ 横浜市建築事務所協会
- ・ 神奈川地域史研究会
- ・ ヨコハマ洋館探偵団
- ・ モーガン邸を守る会
- ・ よこはま洋館付き住宅を考える会
- ・

#### 周辺の動き

- ・ 中田市長と松沢知事とのトップ会談にて、市長が山下居留地遺跡保存活用協力を申出、知事は前向きな姿勢を示した。
- ・ 横浜市(都市デザイン室が窓口)は、民有地であるB2地区も含めた遺跡の保存活用について積極的に調整中。
- ・ 近日中、賛同団体JIA(日本建築家協会)の方々が保存活用に対する独自の要望書を出す予定。

## 御署名の活用

昨年末より3月現在まで、当会活動の賛同者約400名の方々から御署名を戴きまして誠に有難うございました。今後は遺跡保存活用検討会議の開催、並びに、よりよい形での保存活動への賛意として、「保全活用提案書」にこの署名を添えさせていただいて関係各所に提出する形で御署名を活かしていきたいと考えています。詳しくは会ホームページ <http://yyjk.at.infoseek.co.jp/yikk.html> の方をご覧くださいませ様よろしくお願い致します。

以上